

S S K P

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます

泉会

いずみ

No.
176

2015年3月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0073 世田谷区砧8丁目31番3号 メゾン成城202号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一五年二月十一日発行(S S K P 通巻五九四一号)

本年度の聖句

わたしは神が宣言されるのを聞きます。
主は平和を宣言されます
御自分の民に、主の慈しみに生きる人々に
彼らが愚かなふるまいに戻らないように。

(詩編85編9節)



「いつもありがとうございます」年納め会の開始を待つボランティアの皆さんです(岡本ホーム)

野茂が大リーグのドジャースで活躍を始めたのは今から20年前、1995年からのことです。彼の前に大リーグで活躍した日本人選手は(一人の例外を除いて)ありませんでした。コミッショナーの言にあるように、彼は多くの壁を乗り越え「勇気を持って新たな扉を開いた」のです。

私たち泉会も、時に高い壁を前にして、一步を踏み出すことができません。けれども、社会状況の変化は、私たちが立ち止まっていることをよしとはしてくれないようです。例えば『医療的介助』がその一つです。様々な課題に向き合って少しずつでも準備を積み重ね、いずれ壁を乗り越えたいと思います。

最近、ネットのニュースを見ていて、『野茂氏に「先駆者賞」』国際化への貢献たたえろー米プロ野球スカウト財団』という見出しを発見しました。報道によると、「野茂英雄氏と韓国出身の朴賛浩氏に『バイオニア(先駆者)賞』を授与し、大リーグの国際化に果たした功績をたたえた。」ということでした。続けて大リーグのコミッショナーが「英雄は旋風を巻き起こした。彼の才能と勇気は新たな扉を開いた。イチローや松井、ダルビッシュら多くの日本人選手が彼に続いた」とコメントしています。



理事長 佐分利 正彦

毎日の勤務のある生活を離れて、間もなく4年となります。定年を境として変わったことの一つは、午前中から大リーグの野球中継をしばしば見るようになったことです。以前に比べて放送される回数が増えたのは、もちろん大リーグで活躍する日本人選手が多いことによります。

壁を前にして

泉会の給食

利用者の皆さんの健康に役立ち、そして楽しみでもある給食について、各施設の栄養士が紹介します。

日の出舎・就労日の出舎の給食事情

日の出舎・就労日の出舎では、献立表を各階に掲示し、また通所の利用者には献立表の配布も行っています。献立表を更新すると、さつそくチェックされる利用者もおりますし、どんな料理か質問されたりもします。また、支援員や看護師より利用者の意見を聞くこともあり、食事への関心の高さが伺えます。給食業務は2011年より(株)LEOCに委託しておりますが、利用者からの評判も良く、施設栄養士としても頼りになる存在です。



給食委託業者の(株)LEOC

給食の役目は、健康増進、食習慣の確立、十分な栄養素の摂取といった身体的な栄養管理はもちろんですが、好きなものやおいしいものを食べると幸せな気持ちになれるといったように、精神面の充実も大きな要素になります。栄養管理でがんじがらめにされた食事はさぞかしつまらないでしょうし、好きなものだけを食べる生活は健康を害し、結果的にはつまらないものになってしまいます。相反するとも言える二つの要素のバランスを取ることが施設栄養士の力の見せ所と思い、日々業務に当たっています。

今回、給食の特集という貴重な機会をいただきましたので、この二つの要素について紹介します。

まず、身体的な栄養管理ですが、献立のベースは、糖尿病食にしています。(糖尿病食は健康食なのです!)必要な栄養素を適切に摂取できるよう、アレルギーや療養食、刻み食やミキサー食などは

入所者・通所者とも個別に対応していますが、食事(主食)の量や嗜好(好み)に関しては、日の出舎(入所者)と就労日の出舎(通所者)では生活の基盤(施設と居室)が異なることなどから、それぞれ対応の基準を設けています。生活習慣病の予防や悪化防止の為の更なる対応については今後の課題です。

もう一つの要素である精神面の充実に関しては、利用者の要望を一つでも多く反映させることに尽きるかもしれません。利用者の要望は、食べたいもの、味付け、量など内容は十人十色ですが、すべてが自分の思い通りに行かないことや、栄養管理を行っていること、給食の特性(使用できない食材があることなど)についてはみなさん理解があり、とても助かっています。また、利用者の意見の中には目からうろこが落ちるようなものもあり、利用者の意見を伺う機会は大切だと感じています。

楽しみを増やすと言う意味で、

季節や行事に応じた食事の提供はもちろんのこと、手打ちそばやにぎり寿司などのイベントも実施しています。これらは、給食委託業者の(株)LEOCの皆さんなしには実施できないものであり、感謝の一言に尽きます。また、クリスマス会の食事は利用者も含む実行委員と話し合って決めたり、就労日の出舎ではパエリアと餃子の皮でピザを作ったりなど、利用者参加型のイベントも実施しています。こういったイベントの際は栄養管理のことはちよつと脇に置いて、利用者の要望を優先させるようにしています。

給食Ⅱおいしくないというイメージが先行しがちですが、それを払拭できるよう、今後も努力してまいりたいと思います。

(管理栄養士 大河 美也子)



クリスマス、大みそか、お正月・・・年末年始は食のイベントが盛りだくさん!

たのしみな食事 GHいずみ

2005年10月の開所以来、今日までおよそ7000食(朝夕)近くのお食事を提供してきました。

開所日の夕食はカレーライスでした。荷物の整理もそこそこに、慌ただしくも緊張と疲労の中、自己紹介の声に耳を傾けながらも殆どのお皿が「おかわり」と元氣よく上がり新たな生活が始まりました。皆さんの叶えたい夢や希望、健康管理と期待される楽しい食事、これからどれだけの至福の時間が訪れるのか、其々の希望が浮き出ているような笑顔でした。独り立ちを目指して自分の可能性を広げ何よりも挫けない心とへこたれない体を維持して行く日々の積み重ねが、10年目を迎える皆さんの今となっています。

時にはお父さんやお母さんの話で涙を浮かべて食べる時も、悔し涙や不安を抱える時も、食卓に

は良い匂いのご飯やおかずが並んで待っている、ささやかだけれどとても大切な事だと思つて一生懸命作ってきました。

物価高騰の苦しい状況ですが良い食材をより安く仕入れ(朝200円、夕300円)皆さんの明日を創る今日の食事作りにスタッフ一同心を込めて励んでいきたいと思っています。

(管理人 細谷 末子)



マグロの香草ステーキ



ビビンバ 鰯と豆腐の炊き合わせ

泉の家 給食が美味しいっわけ

食事の種類は常食・一口大切り・ソフト食の全3種の食事形態と個別対応の治療食があります。

お楽しみとして週1回の選択食、月1回の季節食材を使った行事食や年1回程度蕎麦打ちなどの、参加型イベント食を実施しております。その中で毎回喜ばれているのは「リクエストメニュー」ではないでしょうか。リクエストメニューは給食会議や嗜好調査での聞き取り、普段の食事の場であり、利用者が口にされた一言を拾い、内容はチャーハン等の主食からフレンチトーストといったデザートまで幅広く日常の食事の中に、可能な限り盛り込んでおります。時には「思っていたのとは違う…」といった感想もありますが、そういった意見も大事にし、次回に繋げたいと考えております。

毎年嗜好調査を実施しておりますが2014年度では「満足」

が前年度を10ポイント上回り、58%となり、「やや満足」も増加する結果となりました。そして、2013年度には4%あった、「やや不満」が2014年度は0%に！ボランティア等外部からいらした方からも「泉の家の給食が一番美味しい！」といったお言葉をいただいています。これも(株)グリーンハウスの方々の努力のお陰です。

泉の家に常駐している(株)グリーンハウスの所長は20代の女性です。一見頼りなげに見える細腕ながら、献立作成から調理、業務全般を担っており、利用者に対する時は女性ならではのきめ細やかな配慮があり、中々の敏腕であるといえます。その補佐をしているのが女性2名。交代で出勤しており、所長のフォロー



世田谷食育メニュー提供

をしています。食堂や厨房がきれいに保たれているのは彼女らの存在が大きいところだと思います。これからもみなさまにぴったりの様な食事の提供を行って参りたいと思います。今後もお力添えをお願いいたします。

（管理栄養士 小池 明美）



イベント食「土鍋おでん」

岡本ホーム 4つの取組

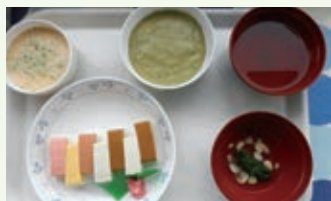
楽しく健康的な給食のために4つの取組を行っています。

①安心・安全な給食

給食の食形態は一口大・刻み・極刻みペースト、ムース・お粥と個々の状況に合わせた対応をしています。



年納め会のにぎり寿司



にぎり寿司のソフト食です

③減塩への取り組み

日本人の食事摂取基準2015年に準じ減塩に努めます。炊き込みご飯、清まし汁、おでん等にダシ

昆布を使用し、減塩で旨味のある給食を提供しています。にぎり寿司の卓上醤油をスプレーボトルにして、ワンプッシュ醤油1ccとなり少量の醤油でもおいしく、食べやすいと好評でした。

④適温給食

温かい物を温かく提供するために、保温食器を購入しました。3社のサンプルを利用者に使ってもらい、食べやすさの感想を聞き取り、利用者の声を反映しました。保温食器内部温度の測定も比較検討し、保温性の高い利用者の意見を取り入れた食器を選びました。購入後のアンケートで利用者、給食試食会での家族からも、温かく使

いやすいと好評価をいただきました。以上、点を踏まえ(株)LEOCと協



保温食器で温かく

玉堤分場 笑顔になる食事

力して給食を提供しています。岡本ホームでは朝の会で利用者が今日の献立を発表しています。献立への質問も多く、給食を通して会話ははずみ、笑顔いっぱい昼食時間を過ごされています。

（栄養士 望月 暢子）

毎日の楽しみは迷わず分場の食事と言って頂けるようヘルシーで、こだわりの持った食事を、常に心掛けています。その中の一例として、イベント食があげられます。

いつもとは違ったお食事をして頂くことで、活力が生まれ、より一層頑張る仕事ができると思います。毎年同じく年2回の実施を予定しています。前回は、6月に醤油ラーメンを提供しました。その美味しさは、まさにお店の味と大評判でした。

2月にはまぐろ、かんぱち、穴子、サーモン、海老、卵などをネタ



すしの握り方を教えてもらっています



楽しい食事の風景です

す。嚥下が困難な方には汁物を具材と汁に分け、汁にはトロミをつけ、飲み込みやすさに配慮しています。

②行事食・イベント食

暦の行事食で季節感を大事にしています。イベント食（にぎり寿司）では、寿司職人に利用者の好みのお寿司を握ってもらい、好きなネタをお代わりする楽しい食事会となりました。

とても楽しみです。

同じ建物内の1階にある（つどいの家）と同じメニューのお食事を提供しておりますが、食べる場所は異なっても、同じ味を同じ時間に多くの方に召し上がって頂くのは、対応するものとしてとても恵まれている事と思います。分場の方々、つどいの家の方々といろいろと違ったご意見を伺うことが出来、それらを常に献立に反映しております。献立自体は、本園と一緒ですが、委託業者としてお願いしている(株)LEOCの努力と工夫により、切り方、盛り付け方なども変わり、分場オリジナルのものが、生まれているのではないかと思います。温かい物は温かく、冷たい物は冷たくと、一番美味しい状態で召し上がって頂くと共に、季節を感じさせるメニューで日々を感じて頂き、利用者の皆様の楽しい毎日へのお手伝いが少しでも出来たらと思っております。

（栄養士 武下 千文）

泉の家だより



「泉の家防災への取り組み」

泉の家では今年度も、成城消防署の指導の下『効果訓練』を10月に実施しました。地震とその後火災を想定して、指揮系統、連絡通報、初期消火、避難誘導などの一連の動きを消防署員に評価してもらいます。当日は消防署員が3名来所され、職員、利用者共にドキドキしながら訓練開始を待ちます。職員の何名かはゼッケンを付け、役割をきちんと行っているかチェックを受けました。背中に消防署員の視線を感じながら消火活動を行ったり、けが人を想定し、三角巾を使用した応急手当を行ったりと、いつもの訓練と違った緊張感がありました。それでも消防署からの評価は上々で、「なかなか中にも緊張感があり、職員間の連携も非常に良かった」と言ってもらえ、後日「優秀賞」で表彰されました。

また、泉の家には防災ヘルメットが

数個しかなく、今回の訓練をきっかけに購入しています。色は職員の希望の多かったライムグリーン。鮮やかな色のヘルメットを被り、今後も防災活動に力を入れていきたいと思っています。

（河村 律子）



ライムグリーンのヘルメットで早速訓練

岡本ホームだより



「コーヒーワゴン販売

はじめました！」

就労事業では毎週火、木の午後休憩時間に所内コーヒー販売を行っています。所内コーヒー販売では、就労事業の利用者1名とボランティアの前田様をはじめ、介護実習に来た実習生の方等にお手伝い頂き、製品販売しているコーヒーの粉を使って業務用のコーヒーメーカーを使っています。

これまでコーヒー販売は2階のロビーで行っていましたが、10月より、1階作業場でのワゴン販売を開始しました。以前より生活介護で車椅子を利用する利用者が増えたため、1階作業場から2階ロビーへエレベータで移動する時間がかかってしまうこともあり、もう少しゆとりコーヒーを飲んで楽しみたいという利用者からの声が挙がっていました。また、就労利用者にとっては定期的に移動販売の体験をすることにより施設外販売に慣れることに

も繋がります。ワゴン販売をするようになってから当番の利用者が以前より大きな声で「ありがとうございました」と対応しており、ワゴンも新調し、販売の環境も変わり新鮮な気持ちで仕事ができている様子が利用者から見えます。何よりも利用者から「おいしかったよ。また1階に来てね」という一言が励みになり、利用者の笑顔も見られます。これからも頑張っていきたいと思っています。

（有馬 恵子）



ボランティアの前田さんいつもありがとうございます！

玉堤分場だより



「毎年恒例初詣」

仕事始めの日に、近所の等々力不動に参拝に行くことが、玉堤分場の恒例行事となっておりま

す。素晴らしいことに、ここ数年は天気にも恵まれ、晴れやかな気持ちで一年を迎えることができています。平日ということもあって、人も少ないため、ゆつくりと参拝することが出来ました。

朝礼の後、新年の目標をみんなの前で発表することになっているのですが、利用者だけでなく、職員も同じように発表するので、みんなどこかそわそわしています。何を言おうか考えている人もいれば、他の人の目標を聞き、頑張つてねと声をかけてあげる一幕もあり、みんなが笑顔になれる瞬間でもあります。

新年の目標を発表することにより、気持ちも新たに、一年のスタートをきることができます。



今年一年、何事もなく、みんなが笑顔で安心して過ごせるよう努めていきたいと思っています。

（津島 将次）



初詣の記念にみんなで

日の出舎だより



生活介護活動紹介

（趣味・アート活動）

私達、趣味・アート活動班では、昨年の春よりロビーの廊下に「季節の壁画」を作成しています。

壁画の中心には力強い大木を配し、春には満開の花の周りに虫たちが遊び、夏には深い緑の葉を生い茂らせ、秋には色とりどりの葉に身を包み、赤トンボが群れて飛び、冬には真っ白な雪のゴートを羽織り、雪だるま達が楽しくおしゃべりしています。

春の花たちは利用者の方々が一つ一つ色を塗り、それらを切り取り、壁に貼りました。夏の葉は緑一色だけでなく、個性的な色の葉も茂っていました。秋の紅葉は赤・黄・オレンジなど鮮やかな色に壁面が染まりました。冬の景色は一変し、雪と雪ダルマが主役のモノトーンな世界となりました。

雪は綿を千切り、丸めて両面テープで利用者の皆さんと貼り付けま

したが、大木に雪が積もった感じが上手く表現できたと思います。皆様も日の出舎にご来舎の際は、是非ロビーの「季節の壁画」をご覧ください。

（三上 崇）



季節の壁画「冬」



季節の壁画「春」

法人親睦会



冬の厳しい寒さが始まる12月初旬、2014年度法人親睦会を、東京都八王子市にある高尾山で行ないました。

当日は天候にも恵まれ、30名の参加者が「登山コース」・「ケーブルカーコース」に分かれて山頂を目指しました。普段会う事の少ない理事の方、他施設の職員同士、道中楽しそうに話をしている様子が印象的でした。

両グループともほぼ同時に山頂に到着し、合流後、ビニールシートを広げての昼食を楽しみました。心配していた寒さも、山頂は陽当りが良くポカポカ陽気で、心地よく過ごす事が出来ました。

昼食後、理事長より永年勤続表彰者3名の職員が表彰されました。青空の下、大勢の観光客の中での表彰は、例年と違った雰囲気がありました。

その後は、引き続き景色を楽しんだり、更にその先を目指したりと、各々が思い思いに過ごし、山

頂で解散となりました。

今回は、登山というレクリエーションを通し、自然に囲まれた中で法人親睦会を行う事が出来ました。泉会が発展していくにあたり、このような職員同士の交流を深める場が今後必要になっていくのではと感じました。

（徳富 聡士）



* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部 泉の家	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463 izumi@izumikai.jp
日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205 info@hinodesha.org
グループホーム いずみ	〒197-0825 あきる野市雨間322-12 ☎☎042(550)9083
岡本福祉 作業ホーム	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号 ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp
玉堤分場	〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433 tamatatutumi@izumikai.jp

編集

後記

今回の特集は各事業所自慢の給食です。どのような人が作り、どのように作っているのか、多くの人に知っていただければと思います。美味しいだけでなく、楽しい給食に感謝です。

（泉の家）

